

ふきのと

2005
秋号
No.012

天高く舞い上がる
稲穂たち!!

『今年も竿燈を観たい.....』という希望に応じて、20年前から市役所竿燈会(病院職員4名含む)が病院正面玄関前で妙技を披露してくれています。

ドッコイショードッコイショー ドッコイショードッコイショーの掛け声と、笛に太鼓、すり鐘のお囃子とともに、400年前から始められた竿燈。

天の川が降り注いだような光が大通りをうめつくす。米俵をかたどった提灯を下げ、先端に厄払いの御幣を

付け稲穂に見たてた一本の竹竿と9本の横竿に46個のちょうちん、高さ12m重さ50kgの竿を、男が自由に操る。肩に腰に額にと軽々と差し上げるその技は、観衆を熱狂させる真夏の競演。

竿燈まつりは、真夏の病魔や邪気を払う、ねぶり流し行事。ねぶり流しは、五穀豊饒や技芸上達を願って始められました。



「AEDってなあに？」

～ このマークを知っていますか？ ～



丸山先生▶



皆さん、赤いハートに白い稲妻のようなシンボルマーク(写真)が病院内に数カ所掲示してあるのにお気づきですか? あれば、あの場所にAED(自動体外式除細動器)が設置されていることを示しています。

え、AED!?! 聞きなれない言葉ですが、ぜひ覚えていただきたいと思います。いざという時、私たちの大切な命を救ってくれる大切な器械ですから。

心臓が止まった当初、心臓は痙攣を起こしていますが、時間とともにその痙攣は小さくなり、やがて痙攣も起こらない心静止の状態になってしまいます。心臓がまだ痙攣を起こしている時であれば、このAEDで心臓を蘇らせることができます。でも、AEDを使うのが1分でも遅くなれば、蘇る確率は7～10%低下します。つまり1秒でも早くAEDを使える環境整備が必要なのです。そのため、当院では心停止から3分以内(遅くても5分以内)にAEDが使用できるよう、院内の各所に設置しました。

心臓が痙攣している時の最良の治療法は電気ショック(除細動)です。AEDは器械が自動的に心電図を解析して、除細動の適応か器械が判断して音声メッセージで指示してくれます。そのため、今までは医師以外の方ができなかった除細動が一般の方でも可能になりました。当院でも平成17年7月13日に職員を対象とした講習会を開催しました。秋田市内でも空港、アルヴェ等数カ所にAEDが設置されています。AEDがどなたでも使用できるように講習会も企画されており、今後、人の多く集まる場所にAEDが消火器のように設置され、AEDが5分以内に誰でも使用できる秋田市となれば、どんなにか素晴らしいことでしょう。



『乳がん検診うけていますか?』

乳がん検診が進歩してきています。できるだけ受けてほしいものです。今回は、外科の伊藤誠司先生に伺いました。

乳がんの診断と治療



伊藤誠司先生

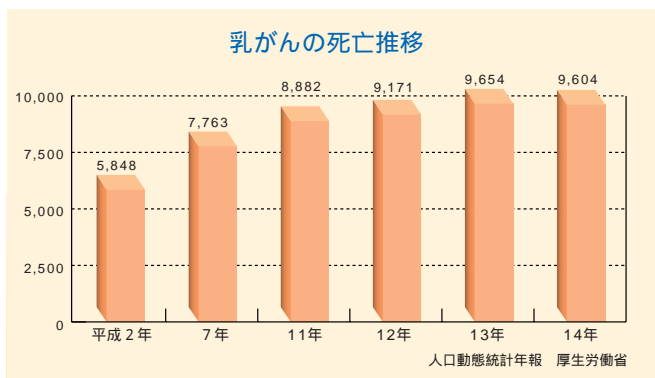
乳がんは増加傾向が著しく、一生のうちに8 - 9%の人が発症する、女性において最も頻発するがんです。世界中で毎年100万人以上が新たに乳がんと診断され、約40万人が死亡しています。日本でも罹患数33,676人(1998年)、死亡数9,171人(2000年)といわれています。

乳がんの危険因子は、お母さんまたは姉妹が乳がんを罹患している場合、同一家系内で複数の乳がん患者がいる場合、乳がんの前がん病変(異型性のある乳管過形成)西洋風の食事、喫煙・受動喫煙、初潮が早くなって閉経が遅くなるホルモ的な因子、出産がない、最初の出産が30歳以上などです。

日本の今の社会構造(高学歴社会・非婚・晩婚・少子化など)を考えると、乳がんの発生が減ることは当分期待出来ない状況ですので、無症状でも乳がん検診を受けて下さい。症状のある方はすぐに受診して下さい。

がん治療の目標の第1は「根治(完治)」です。言い

換えると5年とか10年の生存率を高めることです。最近の乳癌診断機器の進歩と普及でマンモグラフィーによる乳がん検診が行われるようになれば早期発見の増加と早期治療による乳がん手術の縮小化(乳房温存療法)の増加が期待されます。しかし手術だけで治癒できる乳がんは限られるので、「根治」を得る具体的な手段としては手術や放射線治療といった原発巣に対する局所治療でがん病巣を出来る限り除去することと、化学療法やホルモン療法、分子標的治療といった全身への補助療法でどこかに残っているかもしれないがん細胞を叩いて再発・転移を防ぐことを組み合わせる必要があります。



第1回 乳がん患者の会を終えて

3南病棟師長 櫻田 明子

平成17年7月9日、初めての乳がん患者の会が開かれ、41名が参加されました。医師と看護師からの乳がんに関する講演の他に、患者さん自らの体験談や、病棟看護師によるピアノ演奏があり、会を盛り上げました。参加者にはアンケートにご協力していただき、色々なお気持ちを知る良い機会になりました。

今後は、患者さんの希望を取り入れ、患者・医療者間の情報交換が有効にできることを目指し、共に成長できる会にしていきたいと思っております。現在、患者の会のすてきな名称を皆さんから募集しております(3南病棟師長まで)よろしく願いいたします。次回は11月12日(土)に予定しております。



マンモグラフィー 施設認定病院です

平成12年3月、法改正(老健第65号通達)により、それまで視触診のみであった乳がん検診にマンモグラフィが取り入れられることとなりました。この改正ではX線撮影装置の仕様の規定はもとより、撮影における画質、被ばく線量にも規定が設けられました。受診する側からしてみれば、誰しも少ないX線被ばくでクオリティの高い写真を撮ってほしいと思うはずですが、当放射線科は、平成13年12月より、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会(施設画像認定機関)より施設認定を受けております。実は、秋田県で最初に認定を受けたのは当施設です。(平成16年度検査件数約1,800件)安心してご利用ください。

我々放射線科スタッフ一同、受診者の方々に安心して検査できる施設として信頼されるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。

名人紹介



フォルクローレ名人

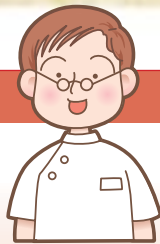
5階南病棟看護師 藤川 千春さん

皆さんフォルクローレって知っていますか。これは南米のアンデス山脈地方の民族音楽のことをいいます。写真のような民族衣装をまとい、踊りとケーナなどの管楽器や打楽器を用いた音楽を楽しみます。

このフォルクローレの名人が5階南病棟看護師の藤川さんです。友人に誘われ、もう5年間も演奏しています。自分たちで考えた音楽や踊りを、お祭り、小学校、幼稚園で演奏しています。今年は本場アルゼンチンで演奏しました。一昨年は当院でも演奏しました。機会があったら皆さんも一度聞いてみませんか。

肝臓教室開催のお知らせ

肝臓病の基礎知識、治療方法、日常生活の注意点、食事など、毎回異なった内容を、医師、検査技師、薬剤師、看護師、管理栄養士等がそれぞれの立場から説明いたします。肝臓に不安をお持ちの方はもちろん、興味のある方もお気軽にご参加ください。



第13回肝臓教室

日 時 / 平成17年9月3日(土) 午前10時から11時30分

第14回肝臓教室

日 時 / 平成17年11月5日(土) 午前10時から11時30分

場 所 市立秋田総合病院 外来ホール(1階)

参加費 無 料
(お車で越しの方には、駐車券に無料スタンプを押します)

事前申込 不 要(当日、直接会場にお越し下さい)

問い合わせ 市立秋田総合病院
電話 018-823-4171(代表)
(1番窓口「総合案内受付」もしくは「消化器内科外来窓口」でお尋ねください)

個人情報の取り扱いについて

平成17年7月より「秋田市個人情報保護条例」が施行されたことに伴い、当院では、患者さんの個人情報の取り扱いについて本条例をはじめとする関連法規に従い、万全の体制で取り組んでいます。

患者さんの個人情報等の取り扱いについての詳しい内容は、正面玄関前に掲示しておりますのでご覧ください。

なお、お気づきの点、不明な箇所がありましたら医事課までお気軽にお申し出ください。



市立秋田総合病院

理 念

市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

基本方針

患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。
多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
医療の安全のさらなる向上に努めます。
良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。



平成17年8月25日発行(年4回発行)No.012